



佐賀北高等学校全日制 学校だより 第3号
令和6（2024）年5月15日（水）

【本年度の重点目標】
生徒一人一人が かがやく佐賀北

写真は一部を除き本校ホームページでカラーで見ることができます。ぜひご覧ください！

野球部 第154回九州地区高校野球九州大会 出場

4月20日(土)に第154回九州地区高等学校野球大会が開幕し、本校野球部が佐賀県大会優勝校として出場しました。大会3日目の22日(月)、1回戦で福岡県の春日高校野球部に5対4で競り勝ちました。4対4で迎えた9回表に野田 鍊平くん(2年5組)のスライズで勝ち越し、その裏を6回途中から救援した稲富 理人くん(2年4組)が無失点に抑えました。大会5日目の24日(水)、準々決勝において残念ながら大分県の明豊高校野球部に1対3で破れ、4強入りを逃しました。1点を追う7回表に相手守備の乱れに乘じて好機をつくり、野田くんの内野安打で同点にしましたが、直後の7回裏に相手の本塁打が出て2点追加され、そのまま相手投手を打ち崩すことができませんでした。明豊高校は甲子園常連校で、この春の選抜大会にも出場しています。今回、勝つことはできませんでしたが、今回の敗退は夏の県大会で代表を勝ち取り、甲子園で勝利するために必要なものと前向きにとらえ、今後、ますます力をつけていってください！

また、この試合には急遽3年生が会場のさがみどりの森球場に駆けつけて応援し、大変盛り上がりました。これから夏に向けて3年生だけでなく全校生徒が応援に駆けつけられるように、今後に期待しましょう。

3年の日直日誌のコメント欄より

バルーンと吉野ヶ里遺跡の住居跡がデザインされた九州大会出場記念のメダル

- 負けてしまったけど、みんなで応援して盛り上がって楽しい一日だった。
- 試合を生で見るのは初めてだったけど、とても楽しかった。
- 部活を本気でやる姿はとてもかっこよかった。
- みんながんばっていて、見ている私たちもパワーをもらった。
- 惜しくも負けてしまったが、北高生が一丸となっていてすばらしかった。



生徒総会が行われました

4月30日(火)、生徒総会が本校体育館にて行われました。令和5年度の事業・会計報告、今年度の事業計画・予算についての審議の後、4月に行われたクラス討議で出された意見の内、主な議題について、各担当部署からの説明がありました。最後に「いじめ撲滅宣言」を行い閉会しました。



入賞おめでとう！

4月下旬から5月上旬にかけても多くの部活動・生徒が各大会に出場し、入賞しています。その一部を紹介します。

4月28日(日)に第9回佐賀県高等学校春季小倉百人一首かるた大会(第46回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会・第48回全国高等学校総合文化祭代表選手選考会)が小城市の牛津武道館(津武館)にて開催され、原田 都妃さん(2年5組)が優勝しました。おめでとうございます！原田さんは今まで佐賀県でずっと1位だった人(他校の3年生)を今回初めて破り、初の栄冠を手に入れたとのこと。今回の優勝で、7月19日(金)～21日(日)に滋賀県大津市で行われる第46回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会に佐賀県代表としての出場が、また、7月31日(水)～8月2日(金)に岐阜県山県市で行われる第48回全国高等学校総合文化祭(清流の国ぎふ・総文2024)小倉百人一首かるた部門に佐賀県チームの主将としての出場が決まりました。小学校4年の頃から続けている小倉百人一首で、新たな風を北高に巻き起こしてほしいですね。次ページで原田さんのコメントを紹介します。



原田 都妃さん(205)のコメント

春季小倉百人一首かるた大会で優勝することができました。佐賀の仲間たちと練習したり、他県のかるた会に参加させていただいたりして、今回の大会を目標に楽しく練習を積んできたので、結果を残せてとても嬉しいです。夏の全国総文祭は主将としてチームの皆と一緒に全国1位を目指します。また、北高にかるたの部活動はないですが、かるたの魅力をもっと広めていきたいです。

部活動以外にも
様々な場面で
活躍する北高生を
応援しています！！



5月3日(金祝)、令和6年度佐賀県新体操競技国スポ選考会が佐賀市の佐賀清和高校体育館で行われ、本校新体操部が総合で優勝しました。また、五嶋 咲希(3年2組)さん、兒島 永奈さん(2年4組)、才川 未愛さん、森 絢音さん(ともに2年3組)の4名が国スポ佐賀県代表に選出されました。おめでとうございます！これを追い風に、県高校総体でも活躍してください。

5月4日(土祝)、第60回国見台陸上競技選手権大会が伊万里市の国見台陸上競技場で行われ、以下の通り、本校陸上部員が大勢入賞しました。おめでとうございます！

男子 200m 優勝 松本 悠斗くん(3年5組)
400m 準優勝 原田 悠貴くん(3年3組)
400mH 準優勝 野田 真登くん(3年2組)
4×400m 優勝 中園 駿くん(3年6組)、松本 悠斗くん、
原田 悠貴くん、野田 真登くん

女子 100m 第3位 徳永 心奈さん(3年3組)
200m 第3位 下村 羽那さん(3年6組)
100mH 優勝 下假屋 友那さん(2年1組)
準優勝 美山 葉月さん(3年5組)
走幅跳 優勝 月岡 輝楽々さん(3年3組)
準優勝 松田 ココさん(3年5組)
4×100m 優勝 月岡 輝楽々さん、徳永 心奈さん、
松田 ココさん、下村 羽那さん
4×400m 準優勝 下村 羽那さん、徳永 心奈さん、
佐古 涼美さん(3年6組)、美山 葉月さん



前期考査が終わり、体育系・文化系問わず、いよいよ高校総体やNHK杯、各種大会等に向けての練習も本格化してくると思います。折しも気温も上がってくる上に、寒暖差も大きい時期です。みなさん、水分補給や休息も適宜行いながら、それぞれの活動に励んでくださいね！

次号・第4号は「高校総体・NHK杯特集号」です！

はる

尾形 春瑠さん(1年3組)インタビュー

4月25日(木)、佐賀市文化会館で全国大会や国際大会での活躍が期待される佐賀県ゆかりのスポーツ選手らを県が認定するセレモニー「ALL SAGA アスリート認定セレモニー」が開催され、約600人が参加しました。この催しに本校からも計19名が参加しましたが、その中に「馬術」で参加している生徒がいたので調べてみると、この春に入学した1年生の女子生徒だとわかりました。そこで、早速、ご本人に話を聞いたので報告します。

はる
鍋島中出身の尾形 春瑠さん(1年3組)です(聞き手は「緑楠」担当)。

○馬術を始めたのは小学校4年の時です。自宅近くに佐賀県馬術連盟があり、その体験についてのパンフレットが学校で配布され、申し込んだのかきっかけです。もともと動物が好きで、パンフレットを見て興味を持ち、応募しました。体験は4回あり、とても楽しかったので競技として始めることになりました。競技を始めて現在、7年目です。



○馬術の競技は大きく三つに分かれます。一つは「障害馬術」で、陸上のハードルのような感じの障害物を超えてタイムを競います。私がやっているのがこれです。二つ目は「馬場馬術」で、競技者が指示して馬が演技をします。そして三つ目が「障害馬術」と「馬場馬術」が合わさった「総合馬術」です。

○障害馬術の障害物は、陸上のハードルとは実際は少し異なっています。陸上のハードルはコース別に規則的にハードルが配置してあると思いますが、障害馬術は馬場にランダムにハードルが配置してあり、その配置は競技の直前に決まることが多いです。それを馬に乗らずに下見して本番に臨みます。

○馬術をしていておもしろいと思うのは、馬も人間と一緒にコンディションがあり、考えていることもその時々で違うということです。だから、馬のコンディションや、今、どんなことを考えているかなと、私も常に考えています。

例えば馬が動かない時は足を蹴って動くようにするとか、逆に動きすぎる時もあるって、その時は手綱を引っ張ります。自分の考えが伝わって馬とタイミングやスピードがピッタリ合うと、楽しいうれしいです。馬も楽だと思います。

○今、乗っているのは「ヴァッラータ」号という雌の10歳の馬で、元競走馬です。人間で言うところの40歳くらいで、乗って2年と少しです。(「馬の世話もするのですか?」という問いに)はい、します。部屋の掃除をしたり、ごはんや水を準備したりします。馬のケアもしていて毛並みを整えてあげたりすると、「ヴァッラータ」がだんだんリラックスしてくるのが伝わってきて、とてもうれしくなります。

○(「『ALL SAGA アスリート認定セレモニー』に参加されたということは、国スポに出場されるということですか?」という問いに)はい、このまま行くと出場することになると思います。国スポに出場する時は「ヴァッラータ」ではなく、別の馬に乗ります。(注:国スポは「国体馬」という、特別に許可された馬で出場するのだそう)「ユニコン」という名前の雌の馬です。

○普段、馬術の活動は週2回、土日の午前中です。大会前は平日の放課後もあります。

○(「大会はよく出場しますか?」の問いに)はい、2ヶ月に1回くらいです。大会自体は秋冬が多いです。大会は福岡であることが多く、そこから九州大会、全国大会と続きます。

○(「馬術という競技にまだなじみがないので、これから競技を見てみたいのですが、どうすれば見られますか?」という問いに)大会がネットで配信されています。「障害飛越(ひえつ)120cm」と検索すれば、私が出場する種目が出てくるので、ぜひ見てください!

「『乗馬』と『馬術』の違いも分からない」所から始まった聞き手の疑問に対し、丁寧に答えてくれる姿が印象に残りました。また、馬についていろいろと話してくれる様子から、「尾形さんは本当に動物が好きなんだなあ」と感じました。みなさんもぜひ尾形さんに声をかけ、馬術について話を聞いてみてください!

美術部 動物写生に行きました



4月27日(土)、美術部全員で佐世保の森きららに動物の写生に行ってきました。片時もじっとしてくれない動物のムービングクロッキーに挑戦したわけですが、「難しい」の一言。耳だけ描いて終わった絵が大量にスケッチブックを埋め尽くしました。しかし天気も良く、新入生とも親睦が深まり、良い研修になりました。

(美術部顧問 東 加代子)



北館(北高会館)にいらっしやい！！ ②

なりまつ たいすけ

成松 泰輔 北高会館館長さんに質問！ ②

○北高会館の利用方法を教えてください。

- 1) 食堂での昼食や休憩場所として(冷・暖房完備)
- 2) 2階自習室での自学自習と昼寝場所として(放課後も使えます！)
- 3) 部活動単位の合宿所として
- 4) 体育祭や文化祭の準備の活動場所として
- 5) 先輩・後輩・先生方との交流の場所として
- 6) 1枚10円のコピー機と、無料の自転車空気入れ貸し出し
- 7) 卒業後の集合場所として
- 8) その他、悪だくみ以外の話し合い場所として

○「知る人ぞ知る北高会館の…」という話があれば教えてください。

2階の一番奥にある大会議室の42帖の畳は、おとし、第5回卒業のある先輩からの寄付で新しい畳にさせていただきましたが、この畳表はイグサではなく和紙で作られています。変色しにくく、丈夫な高級品です。また、正門脇と中庭等にある、しだれ桜も同じ先輩からの寄贈です。大切にかわいがってください。

○北高全日制は昨年秋に60周年記念式典がありました。北楠会もそろそろ60周年ですか？

はい、おっしゃる通りです。北楠会は開校の年の2年後に発足しましたので、来年が60周年です。2年に一度、8月に北楠会の総会を開催していますが、来年の総会の際に60周年記念式典も行う予定です。

○北高生にひとことお願いします。

北高全日制卒業生の同窓会は「北楠会(ほくなんかい)」といいます。

北楠会の大きな活動は、奨学金の支給や部活動の支援金の支給です。そのため、長年にわたって資金を確保し続ける必要がありますので、各会期卒業生のイベントや集まりがあるときに、少しずつの寄付金をいただき、それを集めて資金源としています。

日頃から、卒業後の同級生たちが集まり、親睦を絶やさないようにして、現役生徒のみなさんへの、できる限りのバックアップ体制を取り続けています。

なので、北楠会のモットーは「北楠会のすべての活動は、現役生徒のためにある」という言葉に集約されます。

北高会館は善意だけが集まる場所です。みなさんと気のいい先輩たちが居る場所です。いつでも、息抜きに来てください。

インタビューの際、「私は毎日、幸せな気分で帰宅できます。北高生からいつもすばらしい笑顔をもっているから」と、何度もおっしゃった成松館長さんのお言葉がたいへん印象に残りました！(総務部「緑楠」編集担当)



和紙でできているという大会議室の畳は
いつまでも美しい緑色！

北館ギャラリー



上: '07(平成19)年の夏の甲子園優勝時、そしてその後の全日本の監督を務められた際に百崎 敏克先生が着用されていたユニフォームが寄贈され展示されている。中央上: 2階の自習室。中央下: 同じく2階の浴室は合宿でお世話になる人も多い。



上: 食堂の掲示板。取材時は、ちょうど九州大会開催前で、野球部の九州大会佐賀大会優勝決定を報じる新聞記事と九州大会のトーナメント表が貼ってあった。